

推薦調書（実装部門）（注1）

表彰区分	市（指定都市・中核市・施行時特例市等を除く）	推薦都道府県	大阪府
地方公共団体名	河内長野市		
取組名称	地域住民の生活の質を高める移動支援、南花台モビリティ「クルクル」		
連携自治体、企業、団体等	大阪府、社会福祉協議会、関西大学、（株）コノミヤ、南花台自治協議会（株）NTT ドコモ、ヤマハ発動機（株）		
デジタルを活用した取組の概要（デジタルを活用した取組の全体概要と解決する個別課題の具体的内容）	（種類）（注2）	①	（左記が①の場合の分野） 交通
	<p>【デジタルを活用した取組の全体概要】</p> <p>○ 地域住民が主体となり、AI 運行バスシステムを活用した効率的なデマンド運行と、低速電動ゴルフカート7人乗り（19 km/h 以下）を活用した安全性の高い移動支援を実現。（令和元年12月運行開始）</p> <p>地域住民のラストワンマイルの移動支援による生活利便性向上と、地域住民が主体となった運行チーム（現在約60名が参加、増加中）への参画による新たな生きがい創出、カート内での新たなコミュニティも生まれ、南花台のまちづくり全体にも大きな影響を与えている。</p> <p>【実施に至る経緯・動機】</p> <p>○ 南花台モビリティ「クルクル」を運行するまち南花台は開発から約40年が経過する開発団地であり、こうした開発団地の再生モデル構築を目指し、河内長野市・大阪府・関西大学が連携し、平成26年度よりまちづくり事業を実施してきた。</p> <p>地域のスーパー「コノミヤ」の空き店舗を活用し整備したまちづくり拠点「コノミヤテラス」を中心に「みんなの拠点づくり」「健康仲間づくり」「生活応援」「子育て子育て環境づくり」「まちの情報発信」「事業者の会」の6つのプロジェクトを住民主体で立上げ活動を継続し、これらの取り組みを通じ、把握した地域の真の課題を把握し、課題の具体的な解決を積み上げてきた。</p> <p>その一つに、開発から40年が経過し、後期高齢者が急増する中、免許返納や、体調不良により自宅にこもる老人が現実的に多く存在することを把握し、高齢者の外出機会を増やし健康的な生活に誘導する取り組みの必要性について地域住民と共通認識を持てたことから、本取り組みをスタートした。</p> <p>【解決する課題の具体的内容】</p> <p>急激に人口減少・少子高齢化が進行する開発団地において持つ、根本的な共通の課題となる下記3点を解決する。</p> <p>○自宅にこもる高齢者の外出機会の創出</p> <p>○まちづくりの担い手の創出</p> <p>○減少し続ける地域コミュニティ・地域活動の創出</p>		

<p>デジタルを活用した取組による成果（成果がわかるデータ・数値）</p>	<p>■地域住民による効率的なデマンド運行の移動支援を実現</p> <p>複数の予約が入った場合に、それぞれの乗車ポイントと降車ポイントを効率的につなげるAIを活用し最適ルートが運転者に指示され、乗車・降車の確認ができるシステムを活用することで、経験のない地域住民の運行でも地域住民の足となる効率的なデマンド運行を実現した。</p> <p>【利用実績】</p> <p>2019年度...利用者511人（12月142人、1月146人、2月223人）</p> <p>2020年度...利用者170人（10月27人、11月52人、12月35人、1月14人、3月42人）</p> <p>2021年度...利用者751人（4月44人、7月61人、10月48人、11月134人、12月162人、1月132人、2月77人、3月93人）</p> <p>■コロナ禍で2020年度より運休や乗車人数制限しているが、毎年度、利用者アンケートで9割以上の高い満足度評価を受けている。</p>
<p>本取組の特徴的な点やデジタルの活用において工夫した点</p>	<p>■地域住民主体の運行</p> <p>地域住民のボランティアにより移動支援を運行することにより運行経費が安価に抑えることができ、継続性を高めた。</p> <p>■低速電動ゴルフカートの活用</p> <p>最高速度19km/hの低速車両を活用することにより、運行の安全性を高めるとともに、低床で乗り降りがしやすく、開放的な車両で乗車時の季節を感じることができる気持ちよさが利用促進にもつながっている。</p> <p>■有償化による運行継続性の向上</p> <p>令和3年1月より1乗車100円の有償化を図った。必要性の高さから、有償後の乗車人数の減少はほぼなく、一定の収益を見込める状況となり、取り組みの継続性が見込めるようになった。</p> <p>■電柱2本に1本を乗降ポイントとしたデマンド運行</p> <p>地域内にある電柱2本に1本（約300か所）を乗降ポイントとすることでほぼドア・ツー・ドアのデマンド運行が実現できた。</p>
<p>今後の展望</p>	<p>将来の人口減少による担い手不足に対応するため「地域住民の運行負担軽減」と「運行安全性の向上」につながる安価で継続性の高い自動運転モデルを構築する。</p> <p>令和3年10月から、電磁誘導方式の自動運転により、定時・定ルート運行の移動支援を実装しており、令和4年度中に自動運転のルート延伸、遠隔監視システム、令和6年度中に遠隔操作システムを導入し、レベル4による住民主体の自動運転による移動支援の実現を目指す。</p>



「地域住民の生活の質を高める移動支援、南花台モビリティ「クルクル」」概要図

南花台モビリティ「クルクル」コンセプト



のんびり、楽しく、いかへん？
クルクル

「のりあい」から、「ふれあい」へ。

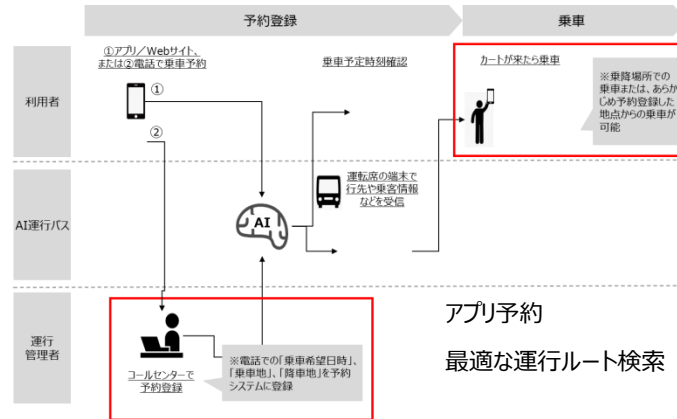
この乗物、ただの乗り合いじゃありません。
ちっちゃい子も若いヒトも、おっちゃん、おばちゃん、じいちゃん、ばあちゃんも 気いよー乗ってもろて、
楽しくしゃべって、元気になって、みんな笑顔になれる。そんな乗物にしたいよ！
ほんで、これに乗って、色んな仲間ができて、やがてみんなが助け合う仲になる！
つまりね、「のりあい」から「ふれあい」へ！ ちゅうことですわ。
この乗物がね、街をクルクル走って、街に「色」つけて、
今までとちゃう、おもしろい乗物になったら、
この南花台から、クルクルと終わることがあらへんお話が始まるし、めっちゃええやん！



低速電動ゴルフカート（7人乗り）の特長



AI 運行バスシステム活用した運行



AI 運行バスシステム概要

1 呼ぶ
配車予約は、スマホアプリもしくはお電話で、初回のみ利用者登録が必要になりますのでご注意ください。

2 待つ
予約時に指定された番号のついた看板が乗り場です。クルクルが来るまで、のんびりお待ちください。

3 乗る
たいへんお待たせしました。クルクルが完全に停止してから、スタッフの誘導にそってご乗車ください。

スマホアプリや利用者登録についてのお問い合わせは、(コトとわ) 1 階の運営拠点でも受け付けています。

乗車場を示す看板は、すっかり南花台の風景になりました。

乗り降りの際には、お気をつけて。

低速電動ゴルフカート（7人乗り）の特長

地域住民主体の運行

わたしたちが
支えています

「クルクル」は、地域住民が主体となり、3つのチームが連携して運行しています。生い立ちも職業も異なるみなさんですが、住民どうしが支え合えるまちをつくらうという思いは同じです。

運行チーム
山口さん、橋本さん

広報チーム
坂田さん

予約受付チーム
伊藤さん

運転手とその場で予約受付の確認などを行い運行をサポートする補助者が、2人組で運行しています。ハンドルを握る伊藤さんは「伊藤さん」とのニックネームで呼ばれています。伊藤さんは「クルクル」の運行を始めてから、日々成長を感じています。

チラシやポスターなどの広報物を制作し、情報発信しています。リーダーの役割をこなしているのは、坂田さん。坂田さんは「どうすればクルクルの乗り場を多くの方に知ってもらえるか、工夫しながら取り組んでいます。」と語ります。

「年齢の方が多いため、分かりやすい案内を心がけています」というリーダーの伊藤さん。電話や窓口で受付対応した予約情報を運行チームに伝達し、スムーズな運行を支えています。

3つの地域運営チームによるきめ細やかな対応



コミュニティを育む助け合いの取り組み

電柱 2 本に 1 本を乗降ポイントとした、ドア・ツー・ドアに近い移動支援



クルクル運行拠点でのアプリ以外の予約対応により、乗車利便性を向上